

科目番号:AE14C73

科目名:日本語教育実習A

担当教員:田中祐輔・日高晋介・鏡耀子

成績評価方法:①授業見学・授業分析:10% ②指定教科書を用いたアクティビティ:10% ③教案・教材作成および模擬授業:20%

④教案・教材作成および教壇実習:30% ⑤自己点検および他者へのフィードバック:10% ⑥最終レポート:20%

成績評価基準:

筑波大学人文・文化学群日本語・日本文化学類
開設授業科目「成績評価基準」

	A+(90点以上)	A(75~89点)	B(60~74点)	C(45~59点)	D(44点未満)
①授業見学・分析	配置されたクラスへの見学を行い、分析シートに分析結果と得られた視点、自身の問題意識を記している。	配置されたクラスへの見学を行い、分析シートに分析結果と得られた視点を記している。	配置されたクラスへの見学を行い、分析シートに分析結果を記している。	配置されたクラスへの見学を行ったものの、分析シートへの分析結果の記述に不備が見られる。	配置されたクラスへの見学を行ったものの、分析シートへの分析結果の記述内容が不適切である。
②アクティビティ	該当箇所のアクティビティに取り組み各欄に十分に記述している。	該当箇所のアクティビティに取り組み各欄に記述できている。	該当箇所のアクティビティに取り組みおおむね各欄に記述できている。	該当箇所のアクティビティに取り組んではいるものの、各欄への記述に不備が見られる。	該当箇所のアクティビティに取り組んでいない。
③教案・教材作成・模擬授業	教授目的に合致した非常に優れた教案と教材が作成され実践されている。	教授目的に合致した優れた教案と教材が作成され実践されている。	教授目的に合致した教案と教材が作成され実践されている。	教授目的とのずれが見られる教案と教材が作成され実践されている。	教案と教材が作成されず実践されていない。
④教案・教材作成および教壇実習	教授目的に合致した非常に優れた教案と教材が作成され実践されている。	教授目的に合致した優れた教案と教材が作成され実践されている。	教授目的に合致した教案と教材が作成され実践されている。	教授目的とのずれが見られる教案と教材が作成され実践されている。	教案と教材が作成されず実践されていない。
⑤自己点検および他者へのフィードバック	他者のフィードバックや主体的振り返りから実践を十分に改善し、他者にも十分なフィードバックを行なっている。	他者のフィードバックや主体的振り返りから実践を改善し、他者にもフィードバックを行なっている。	他者のフィードバックや主体的振り返りからおおむね実践を改善できており、他者にもフィードバックを行なっている。	他者のフィードバックや主体的振り返りに不備が見られ実践があまり改善されていない。他者にも十分なフィードバックが行えていない。	実践が改善されていない。他者にもフィードバックを行えていない。
⑥レポート	十分な内省の下、実践のプロセスが詳細に記述され、改善に向けた対策が的確に記されている。	内省の下、実践のプロセスが記述され、改善に向けた対策が記されている。	内省の下、実践のプロセスが記述され、改善に向けた対策がおおむね記されている。	内省や、実践のプロセスの記述に不備が見られ、改善に向けた対策も不十分である。	内省や、実践のプロセスの記述がない。対策が記されていない。